



AeroEdge

創造性と技術力で感動をもたらす
ソリューションカンパニーへ

AeroEdge株式会社
(東証グロース:7409)

2026年5月20日

2026年5月20日 適時開示情報 補足説明資料
株式会社オノプラントの株式の取得(子会社化)に関するお知らせ

オノプラント社の株式取得の目的

航空機体部品加工が主力事業であるオノプラント社の全株式を下記を目的に取得

1 航空機関連部品の供給能力を拡大し、成長する航空機部品需要を取り込む

拡大

航空機需要 ↑

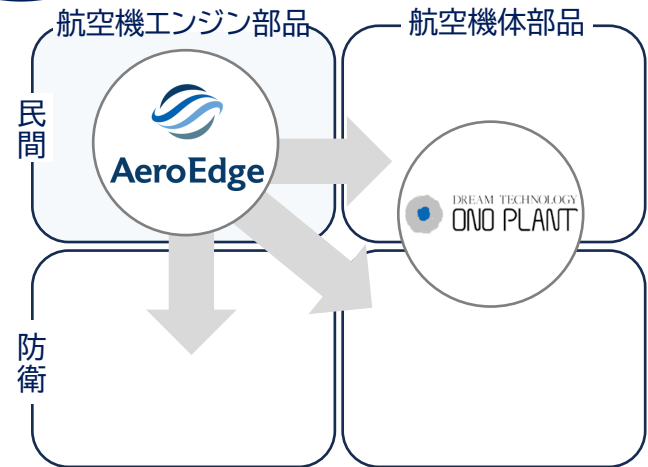
- ✓ 旅客需要は継続して拡大
- ✓ エアラインは航空機購入を積極化
- ✓ Airbus、Boeingの航空機は長期の受注残

航空機部品
サプライヤー

不足

- ✓ 新型コロナ禍による投資不足
- ✓ 技術・品質水準に基づく高い参入障壁
- ✓ 地政学リスクによるグローバルサプライチェーンの断絶

2 航空機体部品・防衛産業進出の足掛かりとする





大手重工業を主要顧客とし、航空機体部品の加工が主力事業

1 加工技術・コスト競争力の両立

航空機体部品加工において、切削加工技術により、厳格な要求水準の対応と持続的なコスト競争力を両立

2 航空機体部品サプライヤーとして長年の実績

グローバルOEM向け航空機に搭載される部品において、大手重工業と長年に亘りグローバルサプライチェーンを担う実績

3 多品種少量への対応力

多くの部品点数と高い管理能力が求められる航空機体産業において、工程・設備・人材を最適化し、多品種少量でも安定供給を実現

オノプラント社の業績と株式取得の概要

業績

- ・オノプラント社の売上は25年3月期で10.3億円。需要拡大により売上は拡大傾向(当社の26年6月期業績予想売上は50.5億円)
- ・加工ビジネスであり、AeroEdge同様変動費が少なく売上拡大時に利益が拡大しやすいコストモデル

取得価額

100%株式取得。取得価額は9.8億円

取得資金

株式取得資金は全額手元資金で対応

経営体制

現代表取締役の相澤氏が引き続き経営をリード

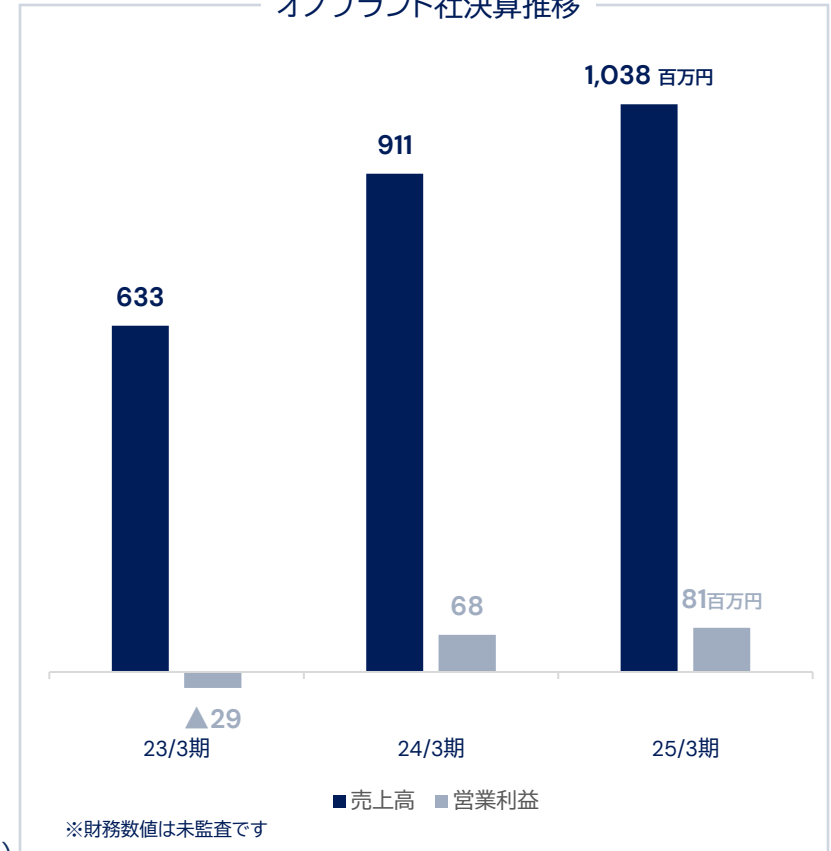
スケジュール

契約締結日 : 2026年5月20日
株式譲渡実行日: 2026年6月4日(予定)

連結決算へ移行

26年6月期4Q決算より連結決算へ移行
(26年6月期4QはBSのみを連結。27年6月期1QよりPLも含めて連結)

オノプラント社決算推移



想定されるシナジー

航空産業でのそれぞれの強み・ポジションを活用することで、
航空機関連部品サプライヤーとしてのグローバルプレゼンスを高める



AeroEdge



航空機エンジン部品

民間部品

海外グローバルOEM

少品種大量生産

加工技術・品質保証・一貫工程

製品種類

民間防衛

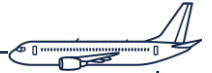
主要顧客

生産方式

能力



DREAM TECHNOLOGY
ONO PLANT



航空機体部品

民間・防衛部品

国内大手重工

多品種少量生産

加工技術・品質保証・加工工程

AeroEdgeの成長戦略における位置づけ

成長戦略

01 チタンアルミブレード加工事業拡大

成長戦略

03 新規量産事業拡大

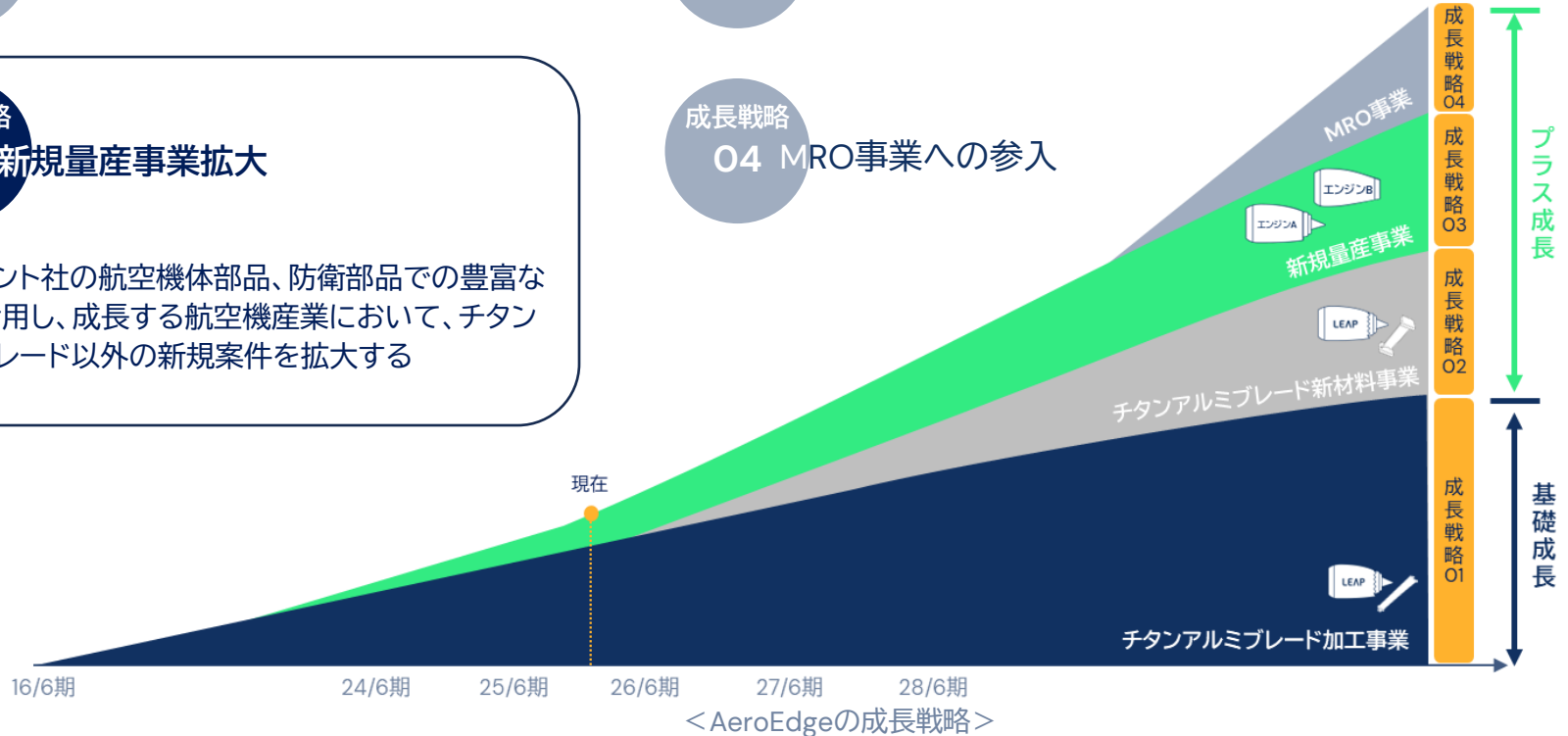
オノプラント社の航空機体部品、防衛部品での豊富な実績を活用し、成長する航空機産業において、チタンアルミブレード以外の新規案件を拡大する

成長戦略

02 チタンアルミブレード新材料の量産供給

成長戦略

04 MRO事業への参入



オノプラント社の会社概要

その夢を
可能にする力。

Dream Technology

社名	株式会社オノプラント	従業員数	58人(2026年1月1日現在)
代表者	代表取締役 相澤 昌宏	主要取引先	株式会社SUBARU 三菱重工業株式会社 新明和工業株式会社 川崎重工業株式会社 株式会社IHIエアロスペース 株式会社栃木ニコン 株式会社放電精密加工研究所
創立	1946年7月3日		
資本金	1400万円		
事業内容	<ul style="list-style-type: none">航空機用、宇宙関連機器用構成品(機械加工部品、溶接組立品)及び治工具の製造半導体・液晶製造装置用構成品及び治工具の製造	各種認証	JIS Q9100/ISO 9001 経済産業省 地域未来牽引企業 経済産業省 健康経営優良法人 防衛装備庁 令和6年度君シカオラン認定 栃木県 フロンティア企業 とちぎSDGs推進企業
拠点	本社工場 〒329-0524 栃木県河内郡上三川町多功2570-2 名古屋営業所 〒452-0933 愛知県清須市西田中長堀97		
決算期	3月決算		

AeroEdgeの資金余力 ~オノプラント株式は全額手元資金で取得~

AeroEdgeの借入状況

AeroEdgeは、LEAPチタンアルミブレード新材料量産、マーケットシェア拡大に伴う設備投資等に対応するため、合計28億円の借入契約を締結済(現時点で17億円未利用)

新規借入契約の状況
(2026年6月期)

合計28億円

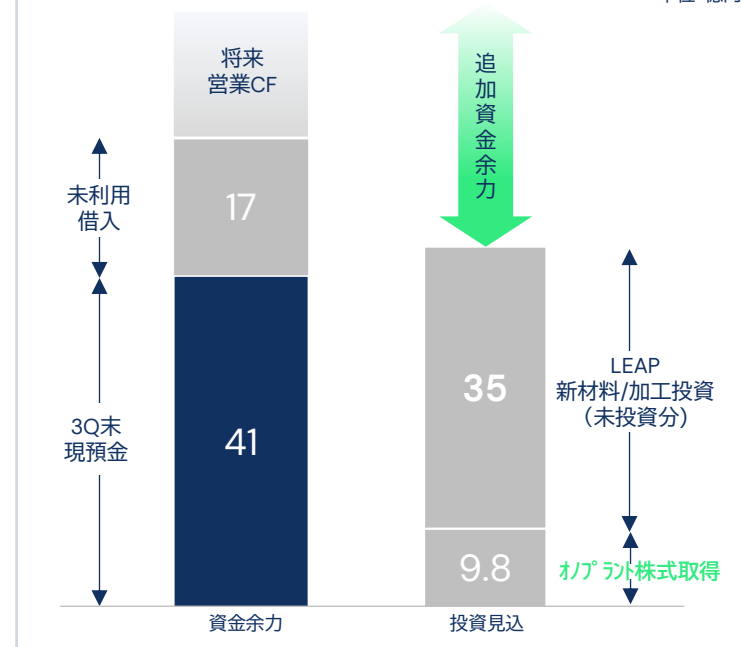


AeroEdgeの投資余力

オノプラント社の株式取得は、全額手元資金で対応。26年6月期3Q末時点で41億円の現預金があり、未利用借入を含めるとLEAP関連投資後の投資余力も確保

投資余力の状況

単位:億円



本資料の取り扱いについて

- 本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

IR問い合わせ先

<https://aeroedge.co.jp/ir/inquiry/>



AeroEdge

